

活動紹介：妊産婦さんや女性だけでなく、
患者さんやその方々を支えるナースやチームに貢献するために・・・

社会医療法人誠光会草津総合病院 母性看護専門看護師

三田村 七福子（みたむら なおこ）

<https://www.kusatsu-gh.or.jp/kango/>

「母性看護専門看護師の三田村です」と名乗るようになってから 20 年以上が経過し、その間いろんな方との出会いがありました。「私はこの方法でしか生きていけないんです」と言われた DV 被害者の A さん、「X'mas 前の街や音が嫌で布団から出られない」と言われていた妊婦 B さん、「私、記憶喪失なんです」と淡々と語られた妊婦 C さん、お子さんをお腹の中で亡くされて半年以上たってからご連絡いただいた D さん、「子どもは育てません」と助産師外来で言われた E さん・・・。その方々個々の「物語」「人生」をお聴かせいただく中で、母性看護という専門分野の意義と奥深さとミッションと共に、他の看護職や職種への敬意も改めて感じる毎日です。

< CNS の実践機能 >

今は、助産外来（妊婦健診や個別面談）も担いますが、ケアサービスの見直しや新規導入を現場ナースが取り組むことを、後方から支援することが中心です。私たち専門看護師は“自分がバリバリ先頭に立つ”よりも、“現場のバリバリをサポートする”ことが大切だと考えます。基本は裏方に回り、相談にのり、現場が自分たちの強みで進めるよう、一緒に考えます。

< 相談機能 >

その他にも専門看護師の役割は多岐にわたり、例えば、倫理的な看護、人が人として十分に尊重される医療がどなたにも提供されるよう、分野に関係なく活動します。人生の最終段階の方へのケア、治療を止めたい方へのケア、がんのゲノム医療にも



守りたいそれぞれの生命

向き合っています。特に最近、この臨床倫理が改めてクローズアップされていて、多職種からの相談が増えています。

< 倫理調整機能 >

「この方にとって何が一番最善か」を見誤らないよう一緒に考え、そしてチームが効果的に機能するよう“黒子役”を担います。

私たちは皆さんと共にある存在です。どこにいるかは見えにくいですが、お声かけ下さればすぐに参ります。ケアを受ける側の方も、医療や福祉の仲間も、いっしょに考えさせていただければそれが私たちの本望です。



多職種で行う倫理カンファレンス